

価値デザイン経営とは

ひとことというど…

企業や組織が「ありたい姿」を描き、そこへの到達に必要な製品やサービスによる「提供価値」を具体化し、現状の課題から「ありたい姿」への移行戦略を考える経営手法です。

そして、自社の未来像を可視化するツールが「経営デザインシート（KDS）」です。

中小企業自らが自社の存在意義を意識し、企業価値を向上させるために将来に渡って持続的に成長する企業に変革することが求められており、内閣府知的財産戦略本部が推進している。

社会環境は…

世界的には、ICT（AI・IoT、DX）やカーボンニュートラル、SDGsに加え、昨今のコロナ禍やロシアのウクライナ侵攻、原材料高等があります。

国内でも、人口減少・少子高齢化や地方創生への対応が急務で企業を取り巻く環境は、大きく変化しています。

事業成長は…

ダーウィンの進化論的に考えるなら、生き残る企業は、変化に対応できる企業であり、この経済社会の変化に対応しながら、経営者が本当にやりたいことを探求し、夢の実現に向け、いきいきと邁進することで未来が拓けます。

価値デザイン経営セミナー開催概要（令和5年度）

1. 講演概要

第1回／講義

1. 事業環境の急激な変化に耐え抜く経営とは
2. 経営デザインシートと価値デザイン社会
3. KDSの活用事例
4. KDSの作成ワークショップ
「自社のKDSを書いてみる」

※第2回までの課題あり(自社の未来のありたい姿を描く)

第2回／ワークショップ

1. 自社のKDS発表と対話
2. 自社のKDSの見直し
3. 自社のKDSとセミナーでの気づきの発表

昨年の開催概要はこちら▶



2. 講師紹介



近藤 泰祐 氏

日本知財学会 経営デザイン分科会代表幹事

内閣府と連携しながら日本知財学会経営デザイン分科会代表幹事として経営デザインシートの普及活動に取り組み、公的機関の中小企業支援（主に新価値創造の領域）に携わる。2020年より、価値デザイン経営ワーキンググループ（知的財産戦略本部構想委員会）の委員を務める。



五島 宏明 氏

ヒロパートナーズオフィス 代表（中小企業診断士）

子供服屋の三代目社長として、小売業からSPA（製造小売業）へ業態転換しオリジナルブランドFiveKids（商標取得）を生み出したが、少子化やSC間競争に巻き込まれ会社は倒産。その後、自らの失敗を教訓に、事業再生士&ビジネスデザイナーとして経営デザインシートを活用したビジネスモデルの変革を軸に経営相談やセミナー及び講演を開催している。著書／「三代目が会社をつぶす?!」（同友館）

3. 開催日程

地域		日程	会場
中通り地区 (郡山市)	第1回	8月9日(水) 13:10~16:30	郡山商工会議所 5F会議室
	第2回	9月4日(月) 13:10~16:30	
会津地区 (会津若松市)	第1回	9月5日(火) 13:10~16:30	福島県ハイテックプラザ 会津若松技術支援センター 交流スペース
	第2回	9月27日(水) 13:10~16:30	
浜通り地区 (いわき市)	第1回	9月28日(木) 13:10~16:30	いわき産業創造館(LATOV 6F) 会議室1
	第2回	11月13日(月) 13:10~16:30	

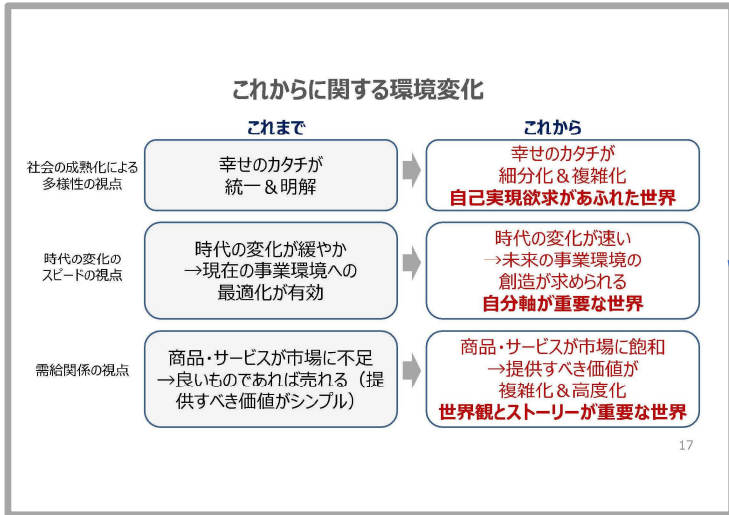
主催：福島県 委託事業者：一般社団法人福島県発明協会(令和5年度 価値デザイン経営推進事業)

後援：内閣府 知的財産戦略推進事務局、特許庁、日本政策金融公庫 福島支店

「ありたい姿」を強く想い、輝ける自社の未来を引き寄せる

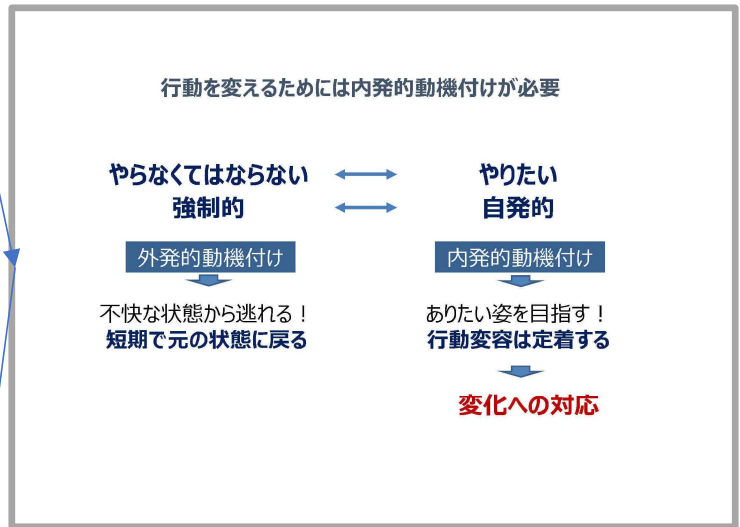
その「ありたい姿」を手に入れるためには、現状維持バイアスから脱却し、自らの想いを常に意識し、自らのありたい姿を思い描くとともに、それを周囲と共有し、世界にあふれる情報から未来につながる情報を拾い出し（意識しないと見えない）、バックキャストによる計画を実行し、輝ける自社の未来を引き寄せる。

以下セミナーのダイジェスト版

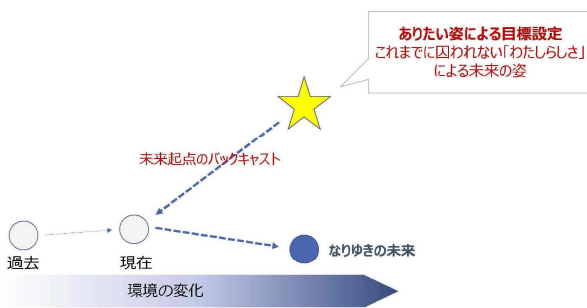


これからは、自己実現欲求、自分軸、世界観が重要視される社会。
商品やサービスが溢れており、求めるものが細分化され、変化も速い。

やらなくてはならないことは強制的となり、長続きしない。
「やりたいこと」は自ら率先して行うと共に、継続性がある。

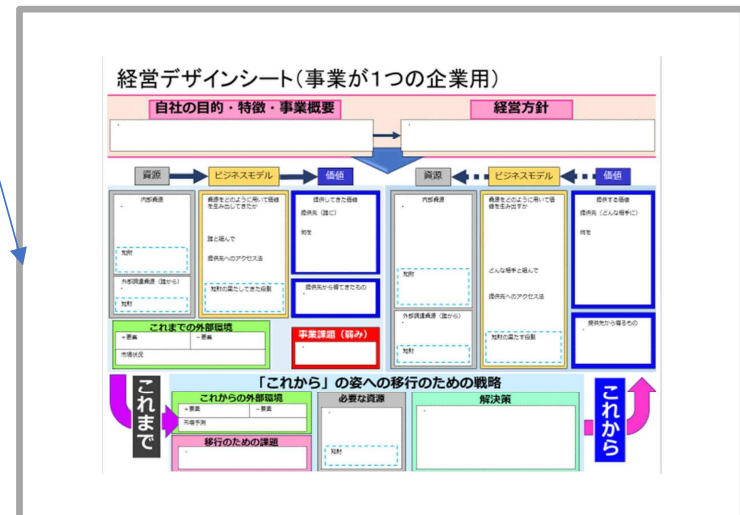


ありたい姿からバックキャストして未来を手に入れよう



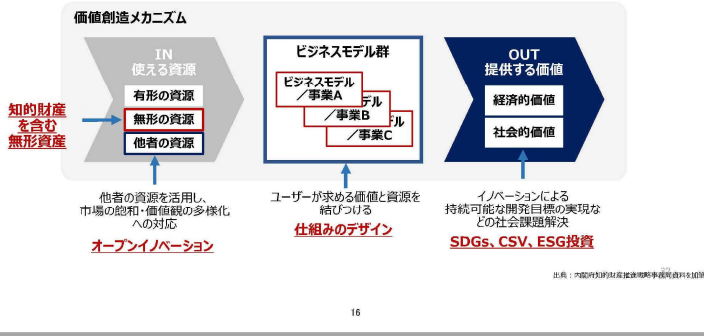
現時点から将来目標を設定すると、環境変化に追いつかず現状維持以下に留まる。
将来のありたい姿から、バックキャストで手段を策定する。

経営デザインシート（KDS）のフォーマット。
記載方法は次頁で紹介。



価値創造メカニズム

企業とは、環境を理解し、資源を確保し、それらを組み合わせ、ユーザの求める価値を創出し、提供する一連の仕組み（価値創造のメカニズム）である。

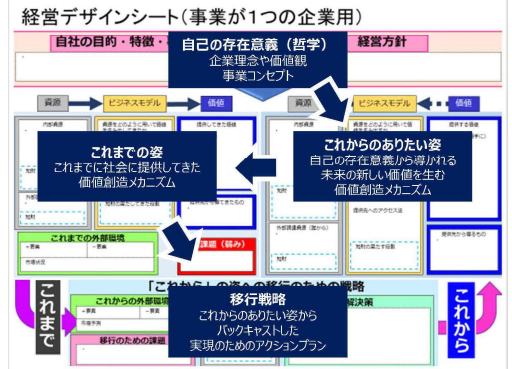


自社の商品やサービスは顧客に対して、どのような「価値」を提供するのが、しているのかを追求することが重要。

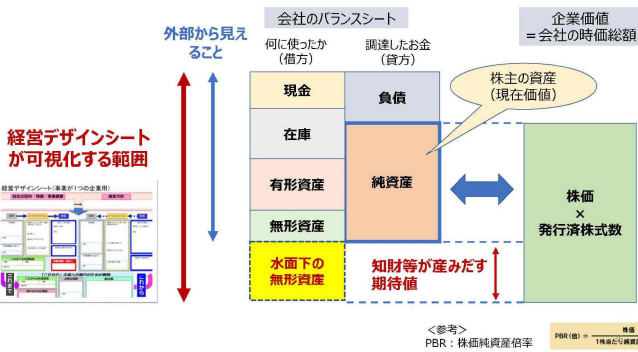
ありたい姿を描く。
提供する価値を導き出す。

- ③ 現状を把握する。
価値を実現する手段を策定する。

経営デザインシートの基本構造



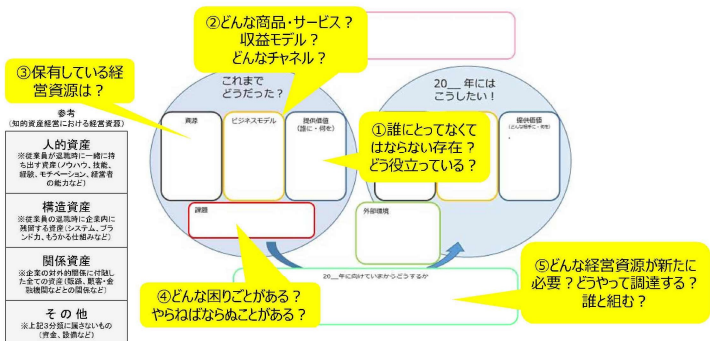
企業価値を可視化する経営デザインシート



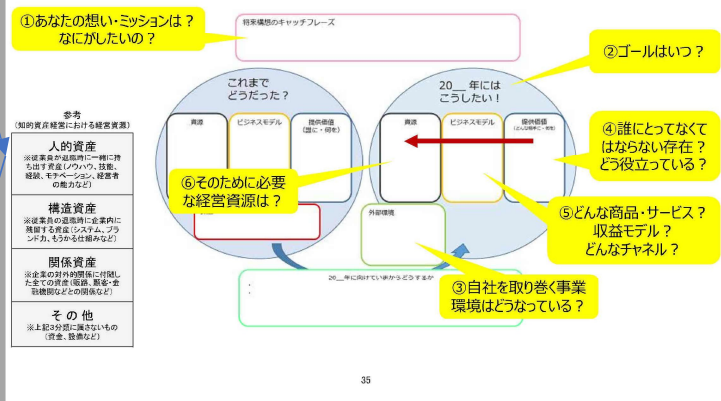
バランスシート上で可視化されない、技術・ノウハウ・顧客・ネットワークなどの「水面下の無形資産」を含めて、KDSでは可視化することができる。

先に上段のありたい姿ややりたいことを設定し、右の欄の記載から、左の欄を記載し、最後に移行手段を策定する。
左の欄を先に書かない。

経営デザインシート（簡易版）の書き方（これまでと移行戦略）



経営デザインシート（簡易版）の書き方（想いとこれから）



KDSのメリット

- 1枚で全体を俯瞰できる。
- 時間軸を意識できる（これまでとこれから）。
- 想いを記載できる。
- 欄が限られ、大切なことしか書けない。
- 社内や顧客等との対話に活用できる。

導入事例

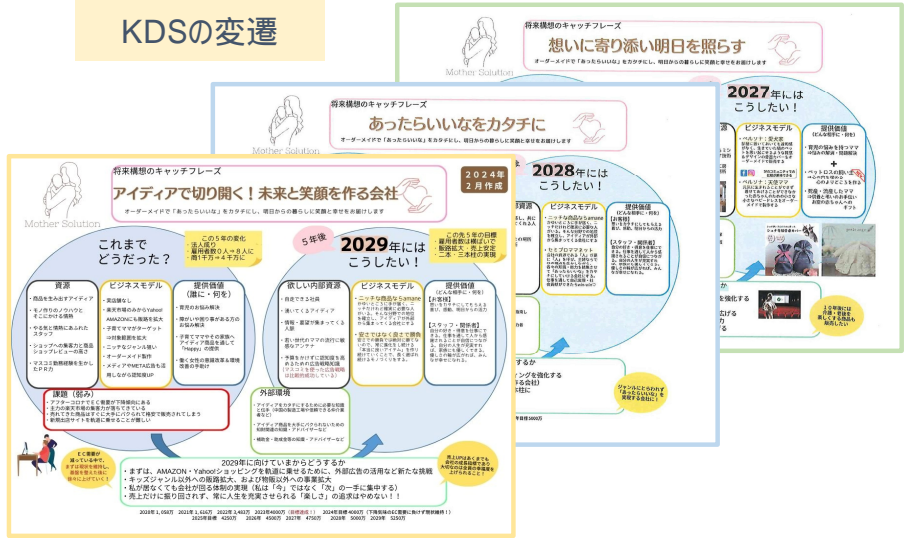
プロローグ

福島市にある(株)マザーソリューション。子育てに便利で今までにない商品を提供しています。しかも子育てママ数名で運営しています。

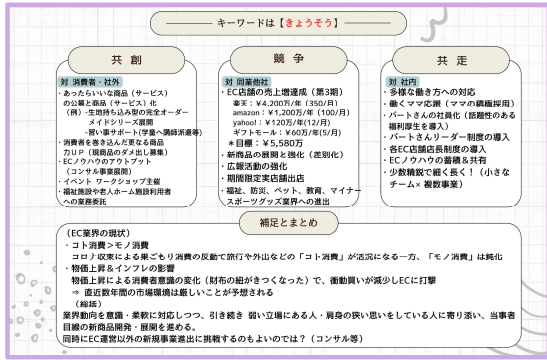
価値デザイン経営セミナー2023年の一期生として、自社が目指すありたい姿、提供する価値をKDSを用いて具体化してきました。

KDSは見直しと検討を繰り返すことで、想いや価値の具現化が図られ、業績も少しずつ伸びてきて、成果につながっています。

KDSの変遷



エピローグ



新しい会社のあり方の追求
働く時間や場所を定めず、束縛されない組織運営。
・子育てママが、空いた時間を使って自由に働く
・それぞれが持つ特技を職場で発揮
・強制ではない自主的な行動

キーワードは・・・
「共創」「競争」「共走」・・・そして事業のブランド化。
これからも新たなニーズの把握と、課題の解決策を研究し続けると共に、自社の存在意義や提供価値を追求していきます。

フォローアップ支援

2023年セミナー参加企業からのエントリーにより、講師2名による個別支援を5社実施しました。
中通り地区：9月5日、11月14日に3社実施。
浜通り地区：9月28日に1社実施。
会津地区：11月15日に1社実施。

参加者の声

- ・やりたいことは何かを深く考える、普段では有り得ない体験をすることができた。
- ・今までの考え方を大きく変える機会となり、前向きに取り組むことにつながった。
- ・経営陣に自分たちの考え方を、判り易く伝えることができた。
- ・経営者の想いを言語化することで、従業員との共通認識を得ることができた。

事務局より

価値デザイン経営の考え方、ツールとしてのKDS(経営デザインシート)の活用が、県内企業及び支援機関の支援活動として根付いてゆくことを目指し、今後も普及活動を続けて参ります。